



東京都済生会中央病院附属乳児院 2019年度 第2号 2019.9.30.発行



東京都済生会中央病院附属乳児院 院長 山中一郎

梅雨明け後の猛暑も一段落し、秋の日差しを感じる陽気となってまいりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

昨年から復活した「運動会」は9月19日に開催し、子どもたちやその保護者の方々、ボランティアさんなど大勢が参加して、とても楽しい時間を過ごしました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。残念ながら参加できなかった方は、次回の行事を楽しみにしてください。

子どもたちは今年の夏を満喫しました。近隣の町会や神社の夏祭りにも参加して、たくさんのお菓子をいただきました。病院の13階で行われた夏祭りでは、かき氷やフライドポテト、唐揚げやポップコーンなど初体験もあり、笑顔笑顔の連続で皆それぞれに精一杯楽しみました。

最後になりますが、日頃よりボランティアの方々をはじめ、関係者の皆様には大変お世話になっております。子どもたちが元気に笑顔で暮らせるのも、皆様方のおかげと感謝しております。今後とも、ご支援をよろしくお願いいたします。

## 理 念

「済生の精神」に基づいた思いやりのある養育の提供を通じて社会に貢献します。

(「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に手を差し伸べることです)

## 基 本 方 針

1. 子どもが安心できる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
2. 愛着関係を大切にし、情緒豊かな子どもに育てます。
3. 感動や成功体験を通し、自立心を養っていきます。
4. 子どもの成長の喜びを保護者と共有し、親子関係を大切にしながら養育します。
5. 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めていきます。

【0～3歳児の育児にお困りの方へ】 当院では育児相談を平日9～16時に受け付けています。詳しくは下記までご連絡ください。 Tel 03-3451-8289 (直通) 担当 小泉看護師長代理

【建て替え寄付金について】 当院では建て替えに伴い寄付金を募っています。ご協力をお願いします。詳しくは下記までご連絡ください。 Tel 03-3451-8289 (直通) 担当 小泉看護師長代理



# 夏の思い出～スイカ割り&水遊び～



8月8日（木）に「スイカ割り」を行いました。子どもたちは朝からとても楽しみにしており、両手を組んでスイカを割る練習をしていました。実際に大きなスイカを目の前にした子どもたちは、「すいかあ～！」と大喜びの様子でした。たくさんの人に囲まれてスイカを割るのは緊張したようで、棒を持って前に出ると固まってしまう子どもたちでしたが、みんなからの応援で楽しくスイカを叩くことができました。丸ごとのスイカを見る機会は、普段の生活ではあまりないことなので、良い経験になったと思います。

楽しい夏の思い出として、子どもたちの心に残るイベントだったと感じました。  
保育士 伊藤 実希



雨や体調を崩すこともあり、外に出られない日も続きました。晴れた日や体調の良い日には散歩に行き、元気いっぱい外で遊んだり、プール遊びで夏をたくさん満喫する事が出来ました。

また「スイカ割り」の日は、みんなで甚平を着て大きなスイカを紙の棒で叩いてスイカ割りを楽しみました。暑い日だったので顔を赤くしていましたが、甘いスイカにかぶりついておいしく食べました。「スイカの名産地」を歌うと、子どもたちは歌に合わせて楽しそうに踊ってくれました。スイカ割りの日は一日中「スイカの名産地」の歌が聞こえて、楽しそうに歌ったり踊ったりする様子が見られました。

保育士 淵上 春佳



今年の夏は、新しい乳児院の建設工事のため、お庭にビニールプールを膨らまして水遊びを楽しみました。初めは水に入るのを怖がっていた子どもたちも、日に日に元気にバシャバシャと水遊びを楽しめるようになりました。

幼児さんは、アンパンマンや花柄などそれぞれ好みの水着に着替えて、コップやじょうろなどに水を汲んでこぼしたり、撒いたり、体にかけてたりして楽しそうに遊んでいました。休憩をはさみながら麦茶を飲んだり、スイカをかじって食べました。乳児さんは、浅いプールに手足をつけてチャプチャプと初めての冷たい水の感覚を楽しんでいたようです。

また、中央病院 13 階の庭園では、子どもたちと一緒に「スイカ割り」を行いました。特製の紙でカラフルな棒を作って大きなスイカを叩いたり、転がしたりしている様子を大きな声で応援して、楽しい時間を過ごしました。それまでスイカが苦手だったけれど、スイカ割りをきっかけに大好きになった子もいました。ひと夏の間に子どもたちは、大きく成長したようでとても嬉しいです。

保育士 杉野 早耶



# 秋のレシピ



## きのこの炊き込みごはん

今回のレシピは秋の定番料理、きのこの炊き込みごはんです。

きのこは食物繊維が豊富で、小さいお子さんには少し噛み切り辛く、消化しにくい食材です。お子さんに合わせて小さく刻んで調理するようにしましょう。おにぎりにすれば、秋のお出かけのお供にぴったりです。

管理栄養士 久保田 歩実



【材料】1人分:米 50g、水 65cc、しいたけ 15g、舞茸 15g、人参 5g、砂糖 1g、醤油 3g、塩 0.3g

### 【作り方】

- ① 米を洗い、30分以上浸水し、ざるで水を切る。
- ② きのこは軸を取り除き、かさの部分に刻む。人参は皮をむき、刻む。
- ③ 調味料と②材料を全て合わせて炊く。

### \*子どもたちの日々の様子\*



ミニ千ゲン菜の  
収穫楽しいな!



おみこし  
かっこいいね



スイカあまくて  
おいしいね



お誕生日  
おめでとう  
!!!



ウサギさんと  
お月様がいたよ!



おみずバシャバシャ  
気持ちいいね



## ～ ナース コラム ～

小児アレルギー科の専門医による『小児の食物アレルギーとスキンケア』の研修を行いました。昨今ではアレルギーのお子さんが増え、ご家庭や施設でも対応に苦慮されていると思います。

食物アレルギーがある場合には、完全除去食が一般的とされてきましたが、今はできるだけ食べさせる方法へと変わってきました。重症のアレルギーがある場合には、医師のもとで安全を確認しながら食べさせていく方法もあります。また、スキンケアでは、ステロイドの使用や保湿を徹底することで、きれいな皮膚状態を保てます。

看護師 夏原清子



## 心理士だより ～ 笑えるはなし ～

「お花が咲いてるね」と絵本を一緒に見ていると、自分の“鼻”を触るBくん。大人が笑っているうちに自分で最後までめくり、「(おし) マイッ」と絵本を後ろに放り、それがEちゃんの足にあたってしまいました。Eちゃんは、「(い) タイ、(い) タイ！」と泣き声をあげて大人に訴えにきます。「あら、痛かったわね。痛い、痛い、とんでけ～」とさすると、「ケ～」とEちゃんは声を合わせ、何回か繰り返すと泣きやみました。「Bくん、ご本がEちゃんにぶつかって痛かったって。ごめんね、だね。」と言うとBくん、すたすたと近づいて「(ごめん) ネ～」となでていました、絵本を！笑っている大人にまた「タイ、タイ！」と言って来るEちゃん。見ると、さっきと違う方の足をおさえています。「そっちだったかしら？」と言っても「ケ～、ケ～」とまじないをせがむのでした。子どもたちといるとたくさん笑うことができ、大人は幸せです。



大人の幸せは子どもの幸せに違いありません。笑える話、微笑ましい話、愉快な話、ほっこりする話。それに大人がたくさん気づいて伝え合い、そんな温かな雰囲気の中で、子どもたちと一緒に過ごし、育っていききたいですね。

心理士 柴田 薫

【編集後記】 厳しい暑さも懐かしく、秋の訪れを感じる日々になってきました。10月には、幼児の子どもたちはみんな遠足へ出かける予定です。乳児院の建設現場の工事もどんどん進み、少しずつ形が見えてきました。毎日みんなと一緒に、楽しく元気に過ごしたいです。(E・T)



### 【苦情等相談窓口について】

当院への苦情は、師長代理、第三者委員又は当院玄関に設置してありますご意見箱（乳児院事務室前）までお願い致します。

苦情解決責任者：乳児院院長 山中一郎

苦情受付担当：看護師長代理 小泉菜穂子

第三者委員：須藤久美 川原邦子



すくすく 第69号 2019. 9. 30. 発行  
発行人 山中 一郎 編集委員 小泉 菜穂子  
山口 美穂 武田 典子 田中 英美 古賀 朔実